

吉田 健二 教授の略歴と主要研究業績

学歴

- 1979年3月 防衛大学校人文・社会科学専攻管理学専門 卒業
1980年4月 筑波大学経営・政策科学研究科修士課程 入学
1982年3月 筑波大学経営・政策科学研究科修士課程 修了
1982年8月 ニューヨーク州立大学バッファロー校経営学博士課程 入学
1988年9月 ニューヨーク州立大学バッファロー校経営学博士課程 修了

学位

- 1982年3月 経済学修士（筑波大学経営・政策科学研究科）
1988年9月 Ph.D.（ニューヨーク州立大学バッファロー校）

職歴

- 1987年1月 ニューヨーク州立大学バッファロー校 非常勤講師（1987年7月まで）
1988年8月 ニューヨーク州立大学バッファロー校 post-doctoral scholar（1988年12月まで）
1989年9月 一橋大学産業経営研究所 客員研究員（1990年3月まで）
1990年4月 法政大学経営学部 助教授
1996年4月 法政大学経営学部 教授（2026年3月まで）
2000年6月 カリフォルニア大学バークレー校経営大学院 客員研究員（2002年3月まで）

学会活動

- Academy of Management 会員（1982年～2023年）
Strategic Management Society 会員（1995年～2001年）
組織学会 会員（1989年～2025年）

研究業績

著書

- 『経営革新とミドル・マネジメント』（野中郁次郎・山之内昭夫・網倉久永と共著）企業研究会、1990年。
『生・販統合マーケティング・システム』（矢作敏行・小川孔輔と共著）白桃書房、1993年。

論文

- An Empirical Examination of Relationships among Contingency Factors, Structure, and Organizational Performance (Ph.D. dissertation), State University of New York at Buffalo, 1988.
“An Empirical Examination of Interaction Effects of Contingency Factors upon Structure and Organizational Performance: A Multiple Hierarchical Levels Approach,” 『経営志林』法政大学経営学会、第27巻第1号、1990年、pp.81-109。
「日本企業のグローバル化の課題」『「組織とイノベーション」研究委員会報告書』日本生産性本部、1991年、pp.47-55。

- “A Comparative and Analytical Study on Management Dynamism at Nineteen Companies in Six Asian Countries,” *Management Dynamism: A Study of Selected Companies in Asia*, Asian Productivity Organization, 1992, pp.9-19.
- 「研究開発の戦略と組織・管理」『民間企業における研究者・技術者の育成および活用に関する実態調査』工業技術院委託調査研究、1994年、pp.9-17。
- 「組織の有効性への4つのアプローチ」『グノーシス』法政大学産業情報センター、Vol.3、1994年、pp.25-31。
- 「抽象概念の測定方法について」『グノーシス』法政大学産業情報センター、Vol.4、1995年、pp.27-36。
- 「R&D マネジメントの転換」『R&D 戦略と人材開発 日本企業の新たな進路』社会経済生産性本部、1996年、pp.101-116。
- 「R&D 人材評価の視点」『R&D 戦略と人材開発 日本企業の新たな進路』社会経済生産性本部、1996年、pp.137-155。
- 「これからの企業の研究開発と人材評価について」『TRI-VIEW』東急総合研究所、Vol.11 No.5、1997年、pp.10-15。
- “Employee Performance Appraisal of R&D Departments in Japanese Companies,” 『経営志林』法政大学経営学会、第36巻第1号、1999年、pp.29-39。

学会発表

- 「医薬品企業の大学病院に対する戦略について」（山本能丸と共著）『1994年度組織学会研究発表大会報告要旨（青森公立大学）』1994年、pp.36-39。
- 「非営利組織の戦略経営に関する研究—社会福祉協議会を事例として—」（平林朋子と共著）『1995年度組織学会研究発表大会報告要旨（桃山学院大学）』1995年、pp.77-80。
- 「顧客満足に関するアンケート調査の変更とその成果—ある旅行会社を事例として—」（水野紀男と共著）『1998年度組織学会研究発表大会報告要旨（慶応義塾大学）』1998年、pp.235-238。
- “Personnel Evaluation of R&D Departments in Japanese Companies,” *Asian -Pacific Human Resource Management Conference: Proceedings (2)*, 1999, pp.1-22.
- “Perceptions about Teamwork: An Empirical Comparison of Japanese, Mexican, and American Faculty,” (with coauthors) *The Association on Employment Practices and Principles: Proceedings of the 2002 National Conference*, 2002, pp.14-19.
- “Differences in Culture and Attitudes toward Teamwork: An Empirical Comparison of Perceptions among Chinese, Japanese, Mexican, and American Faculty,” (with coauthors) *American Society of Business and Behavioral Sciences: 2006 Proceedings*, 2006, pp.136-142.
- “Work Performance and Group Harmony: An Empirical Comparison of Japanese and Other Cultural Attitudes toward Teamwork,” (with coauthors) *The 2007 International Conference in Management Sciences and Decision Making: Proceedings*, 2007, pp.1-16.

その他

- 「企業経営におけるデザイン・ダイナミクスを測定する：研究報告」（講演）『デザインと経営を考える—戦略的デザインダイナミクス—SDD—』博報堂トップマネジメントシンポジウム、1989年、pp.119-128。
- 『日本ビクター株式会社—ビデオムービー「GR - C7」の開発—』日本生産性本部経営アカデミー、1991年。

- 「企業家養成の現場」『調査月報』国民金融公庫、No.401、1994年、pp.22-25。
- 「企業家の養成」『中小企業と組合』中小企業情報化促進協会、第50巻第4号、1995年、pp.10-14。
- 「企業家及び経営幹部の教育について―市場経済と企業家の役割―」（清成忠男と共著）『日本・オーストリアセミナー 90年代及びそれ以後（21世紀）の中欧諸国の経済・社会の展望 <日本とオーストリアの協力の機会> 講演録』本田財団、1996年、pp.109-114。
- 「経営戦略の策定方法について」（講演）防衛大学校、1998年1月。
- 「企業の経営戦略と研究開発について」（講演）『平成10年度地域先導研究シンポジウム 開催結果報告書』全日本地域研究交流協会、1999年、pp.6-14。
- 「新事業の創出に向けて」（講演）『第7回 地域を活かす科学技術政策研修会―新事業の創出―研究開発とニューズー』全日本地域研究交流協会、1999年、pp.27-30。
- 「地域におけるイノベーション成功の要件」（講演）『第14回 地域を活かす科学技術政策研修会―地域イノベーションの起動力の点検―個を活かす場の形成― 予稿集』全日本地域研究交流協会、2006年、pp.207-223。
- 「地域イノベーションの仕掛けへの戦略の導入」（講演）『第6回 地域科学技術振興研究会―事例にみる地域のイノベーションの仕掛け方と仕掛け人の工夫・苦勞の共有―』全日本地域研究交流協会、2007年。
- 「グループ討論のねらいと展開（展望）」（講演）『第15回 地域を活かす科学技術政策研修会―地域のイノベーション・システムの課題―地域におけるイノベーションを持続するために― 予稿集』全日本地域研究交流協会、2007年、pp.153-161。
- 「経営戦略論」『経営学部生のための用語集』法政大学経営学会編、法政大学経営学会、2009年、pp.151-161。
- 「企業の戦略とは」（講演）海上自衛隊幹部学校 幹部高級課程、2014年7月&12月。
- 『平成26年度健康寿命延伸産業創出推進事業 認知症予防を目指す統合型MCI早期介入プロジェクト調査報告書』（検討委員）、認知症予防を目指す統合型MCI早期介入プロジェクトコンソーシアム（代表団体 株式会社ルネサンス）、2015年。

